

薬効増大と副作用回避を指向した薬物送達研究



薬学科（薬剤学分野）

尾上 誠良

- 連絡先 TEL：054-264-5630 FAX：054-264-5636
- ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/yakuzai/>

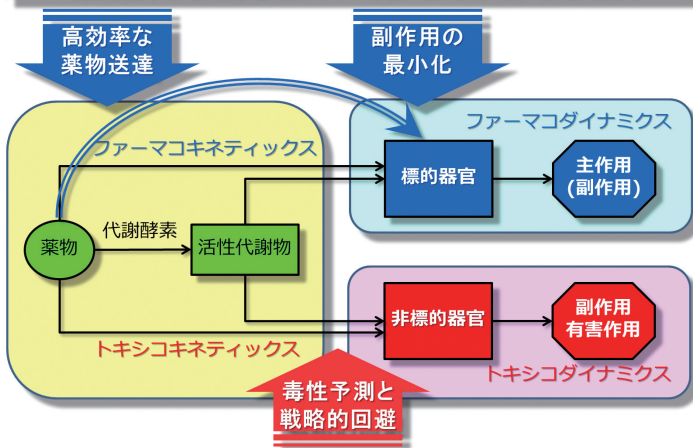
キーワード

薬物動態制御，ドラッグデリバリーシステム（DDS），難水溶性医薬品，ペプチド性医薬品



我々は医薬品の効果・体内動態改善と副作用回避を目的として研究活動を展開し、また、機能性食品素材の体内動態を顕著に改善する新規技術開発を行うことで「未病」段階での治療効果向上を指向した研究も併せて推進している。その結果、(1) 肺内代謝安定性を高めたペプチド性粉末吸入製剤開発、(2) 薬物放出制御による長期作働型粉末吸入製剤開発、(3) 難溶性医薬品の薬効/物性改善を指向した固体分散体開発と吸入剤への応用、(4) 吸入剤応用を指向したナノクリスタル製剤技術による医薬品の物性（溶解性、光安定性）改善等に成功してきた。これらの成果は新規化合物のみならず既存物質に新しい付加価値を与えることが期待され、プロダクトライフサイクルマネージメントに貢献できると考える。

薬剤科学技術を活用した戦略的薬物動態制御



アピールポイント

- 機能性改善または副作用回避のための体内動態制御方法開発
- ナノ粒子設計ならびに体内動態・安全性評価
- ペプチド DDS 設計と体内動態評価